

「オープンデータを活用した歩行者移動支援 の取組に関するガイドライン」の改訂について

総合政策局総務課(総合交通体系)
(併)政策統括官付

1. ガイドライン改訂の方針【平成28年度 第2回委員会資料 再掲】
2. オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン(改訂版)の構成と内容
3. 事例集の構成と記載のポイント
4. 事例集に掲載する地区一覧
5. ガイドラインの構成と改訂内容

1. ガイドライン改訂の方針【平成28年度 第2回委員会資料 再掲】

○ 歩行者移動支援サービスの普及促進に向けて、ガイドラインを活用しやすいものとするため、ガイドライン策定(H27.9)以降の委員会における指摘事項を踏まえ、以下の方針のもとでガイドラインを改訂。

○ガイドライン策定以降の指摘事項等

- ・歩行者移動支援の普及促進のためには、国や地方公共団体、NPOなど多様な主体が協力し、進めていくことが必要。
- ・オープンデータを開始した次の段階として、例えばアイデアソンやハッカソン等により、データの利活用促進を図ることが必要。
- ・国は、オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの成功事例を示すことが必要。
- ・ガイドライン等において、施策の理念・哲学を具体的に示すことが必要。
- ・サービス事業者に向けて、歩行者移動支援サービスに求める留意事項を示すことが必要。また、聴覚障害者への配慮も必要。
- ・歩行者移動支援の取組の中ですべての情報に対応するのではなく、既存の取組と連携して、より充実したサービスにつなげることが必要。

○ガイドライン改訂の方針

① 施策の意義の充実

- ・地方公共団体等が歩行者移動支援サービスに取組を開始するきっかけとなるように社会的背景を踏まえて施策の必要性や重要性を記載

② 知見・ノウハウの充実

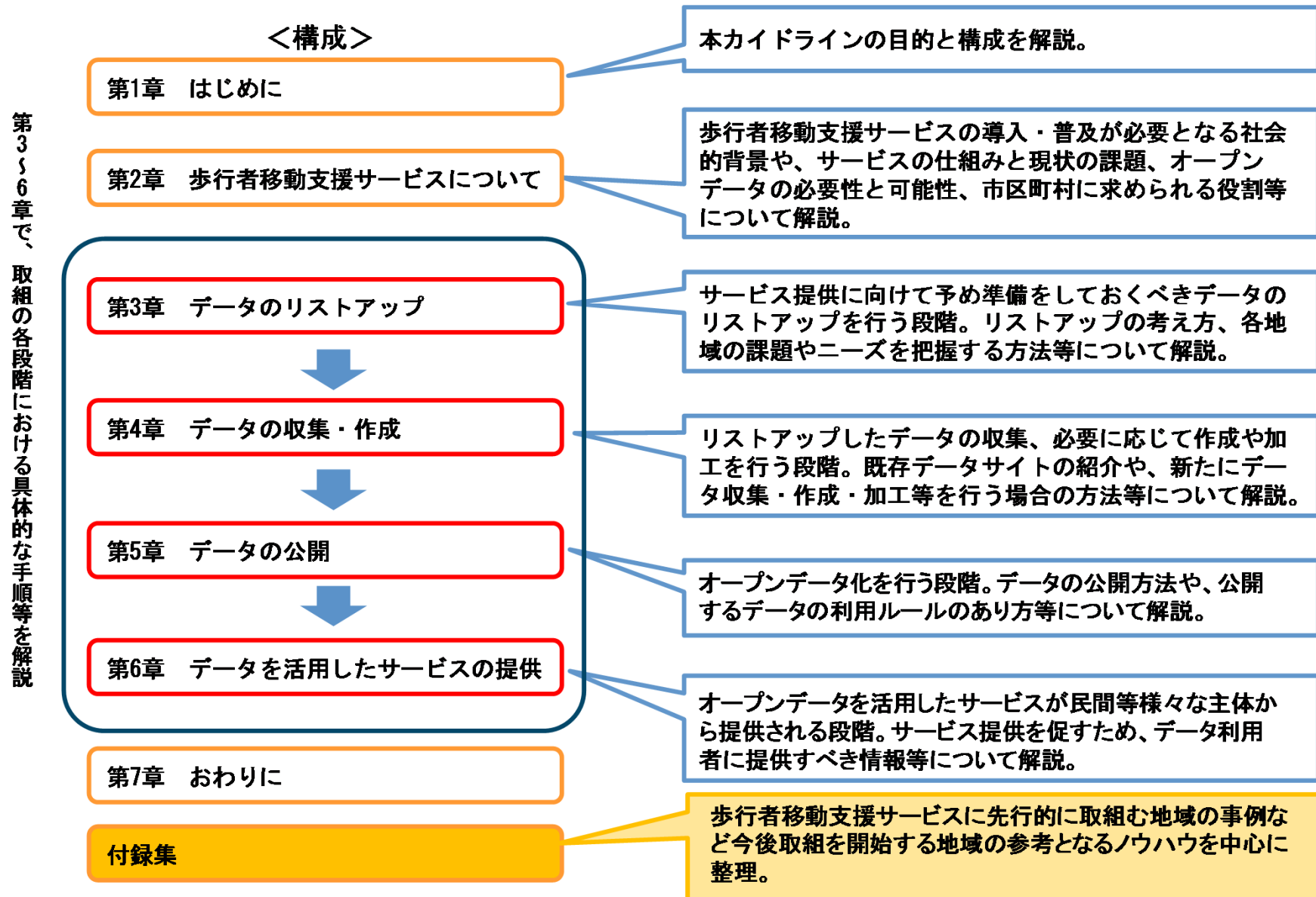
- ・オープンデータや歩行者移動支援サービスに関し先進的な取組を実施している地区のノウハウや参考となる知見を記載
- ・各地区の事例を事例集として整理

③ サービス事業者への留意点

- ・オープンデータを活用しサービスを提供する主体に向けた配慮すべき事項や既存サービスとの連携によるサービスの高度化等について記載

2. オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン(改訂版)の構成と内容

○ガイドラインは、第1章～第7章及び付録集で構成。第3章～第6章でオープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組における具体的な手順等を解説するとともに、事例集では今後取組を開始する地域の参考となるように歩行者移動支援サービスに先行的に取組む地区のノウハウ等を整理。



3. 付録集の構成と記載のポイント(1/2)

- 付録集は、今後歩行者移動支援サービスの取組を開始することを検討する地方公共団体等が参考とできるように、各地区が実施した際の課題や成果、ノウハウ等を記載した事例集を中心に構成。
- 各地区の事例は、平成27年度に3地区で実施した「事例集①:オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組」と平成23年度～平成25年度にかけて14地区実施した「事例集②:ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」の2部構成とし、「取組の概要」と「取組から得られたノウハウ・知見」「参考(資料編)」を記載。

<事例集の構成>

大項目	中項目	記載のポイント	事例集 ①	事例集 ②
事例名		<ul style="list-style-type: none"> 歩行者移動支援サービスの導入を検討する地方公共団体等が自らの地域の抱える課題の解決に向けて参考なる取組事例を直感的に判断できるように、分かり易い特徴を示した取組名称を設定。 (例) ・市民参加による施設のバリアフリー情報の収集(神奈川県鎌倉市) ・地域の多様な主体の協働によるオープンデータの推進(福岡県大牟田市) 	●	●
取組の概要	地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者移動支援サービスの導入を先進的に実施した地区の地域特性や地形的特性等の地域の現状を記載。 地域の現状を踏まえ、歩行者移動支援サービスの導入により地域が解決したいと考えた課題を記載。 	●	●
	取組体制	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者移動支援サービスの導入に向けては、福祉、観光、交通等多岐にわたる分野の知識が必要であり、様々な知識を有する産官学の連携が重要である。 そのため、歩行者移動支援サービスの導入に向けて各地域で設立した協議会などのメンバーやそれぞれの役割を記載。 	●	●
	主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者移動支援サービスの導入に必要となる歩行空間ネットワークデータや施設データの整備範囲や対象施設を選定する考え方やデータを整備した延長や施設数を記載。 施設データを整備する際に利用した既存のデータやWebGIS等の活用方法や施設データに付与したバリアフリー情報の内容を記載。 整備したデータの利活用促進に向けて、地域が主体となり実施したアイデアソンやハッカソン等のイベントの内容について記載。 	●	
		<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を解決するために構築した歩行者移動支援サービスの対象者やシステムで提供する情報等のシステム概要を記載。 構築したシステムの機能を「現在位置案内」「施設情報提供」「経路案内」「注意喚起」等の項目に分け記載。 		●

3. 事例集の構成と記載のポイント(2/2)

- 付録集は、今後歩行者移動支援サービスの取組を開始することを検討する地方公共団体等が参考とできるように、各地区が実施した際の課題や成果、ノウハウ等を記載した事例集を中心に構成。
- 各地区の事例は、平成27年度に3地区で実施した「事例集①: オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組」と平成23年度～平成25年度にかけて14地区実施した「事例集②: ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」の2部構成とし、「取組の概要」と「取組から得られたノウハウ・知見」「参考(資料編)」を記載。

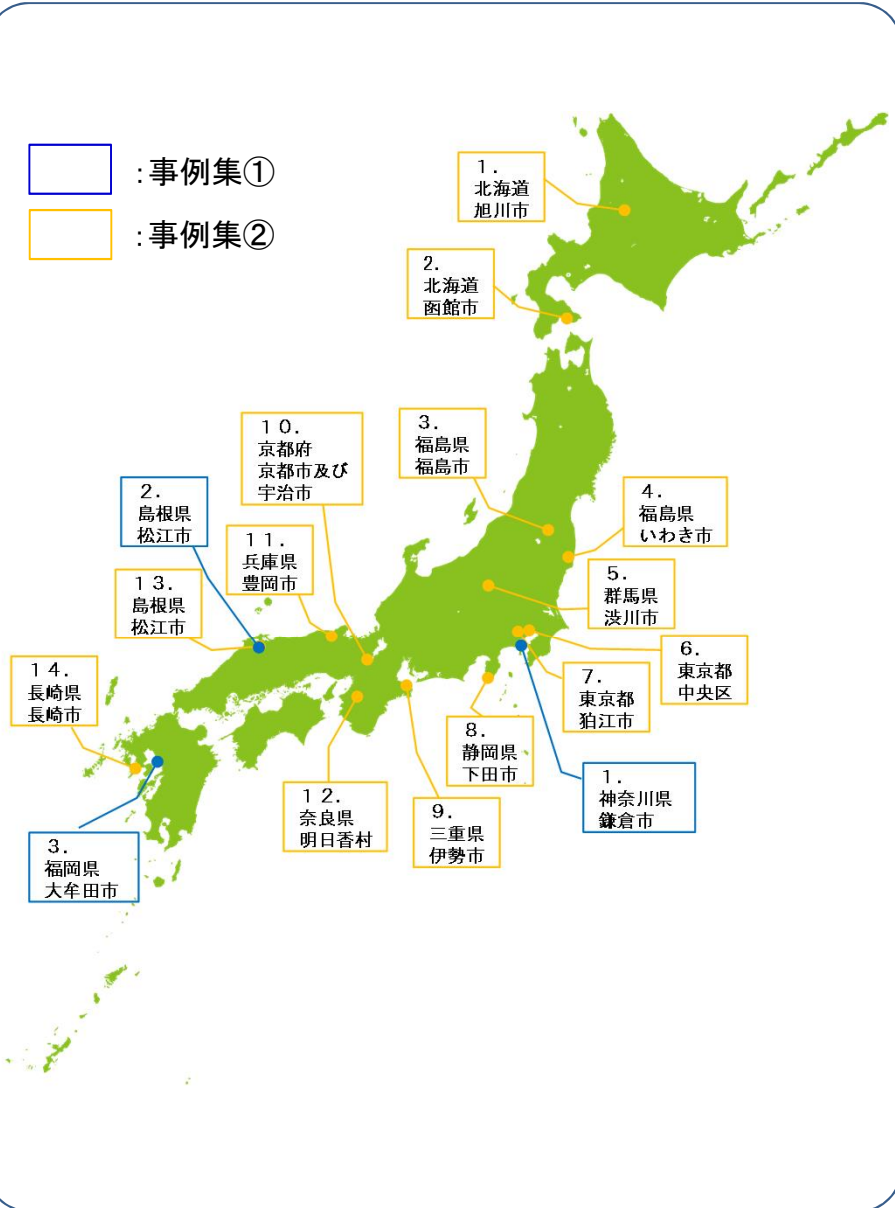
<事例集の構成>

大項目	中項目	記載のポイント	事例集①	事例集②
取組から得られたノウハウ・知見	取組から得られた成果	・歩行者移動支援サービスを導入することにより地域の課題解決に役立ったシステムの機能や他のサービスとの連携による効果等、今後歩行者移動支援サービスの導入を検討する地域に情報提供すべき内容を記載。		●
		・歩行空間ネットワークデータや施設データを効率的に整備するために実施したデータの収集・作成方法を記載。	●	
	取組により分かった課題	・データの収集・作成やデータの公開、サービスの構築や運用、データの利活用促進のためのイベントの開催により得られた知見から、今後、歩行者移動支援サービスの導入を検討する団体が注意すべき事項を記載。	●	●
	取組から得られたノウハウ・知見	・先行的に歩行者移動支援サービスを導入したことにより、他地域がサービスの導入を検討するに当たり参考となるノウハウや知見を記載。 ・ノウハウや知見は導入コストの低減の方法の運用面や位置特定の精度向上の技術面、取組を推進する体制面等の観点から記載。	●	●
参考(資料編)	システムイメージ	・各地区が導入したサービスの全体イメージや構築したシステムの機能等を図や文章を用い分かり易く紹介。		●
	イベントの概要	・歩行者移動支援サービスの展開に向けて整備した歩行空間ネットワークデータや施設データの利活用促進に向けて実施したイベントの目的や実施内容、実施体制、スケジュール、成果等を記載。	●	

4. 事例集に掲載する地区一覧

○事例は、日本各地における17地区の取組を紹介。「事例集①:オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの取組」は3地区、「事例集②:ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」は14地区の取組を紹介。

＜事例集に掲載する対象地区＞



＜事例集①の取組事例の概要＞

地区名・実施年度	取組のポイント(事例名)	A	B	C	D	E
1 神奈川県鎌倉市(H27)	市民参加による施設のバリアフリー情報の収集	●	●	●	●	
2 島根県松江市(H27)	既存のデータを活用した効率的な歩行空間ネットワークデータ等の整備	●		●		●
3 福岡県大牟田市(H27)	地域の多様な主体の協働によるオープンデータの推進	●		●		●

A:オープンデータ B:市民参加 C:アイデアソン・ハッカソン D:データソン E:既存データ活用

＜事例集②の取組事例の概要＞

地区名・実施年度	取組のポイント(事例名)	A	B	C	D	E
1 北海道旭川市(H24)	写真を利用したきめ細かなバリアフリー情報の提供	●	●			
2 北海道函館市(H23)	坂道や段差が多い観光地での車いす使用者への情報提供	●	●			
3 福島県福島市(H25)	バス事業者との連携によるバス停の位置情報・時刻情報の提供	●	●	●		
4 福島県いわき市(H24)	緊急地震速報との連動による緊急時の最寄りの避難所への誘導	●	●			●
5 群馬県渋川市(H24)	石段の多い温泉街でのバリア情報や巡回バス情報の提供によるまち歩き促進	●	●	●	●	
6 東京都中央区(H23)	都心部における位置特定技術を活用し車いす使用者等に対応した経路案内情報の提供	●	●			
7 東京都柏江市(H25)	循環バスの情報と連携したバス停を中心とした施設への経路案内情報の提供	●		●		
8 静岡県下田市(H25)	車いす使用者参加により整備したデータの活用による経路案内情報の提供	●	●			●
9 三重県伊勢市(H24)	イラストマップを活用した観光施設内を含めた細やかな経路案内情報の提供	●	●			
10 京都府京都市及び宇治市(H23)	位置情報に応じた音声によるバリア情報の注意喚起	●	●			●
11 兵庫県豊岡市(H25)	景観に配慮した「電子透かしQR」を利用した施設や経路情報の提供	●	●			
12 奈良県明日香村(H24)	コンテンツマネジメントシステム(CMS)による情報更新可能な仕組の構築	●	●			
13 島根県松江市(H25)	音声と振動による視覚障害者に対応した経路案内情報の提供	●	●			
14 長崎県長崎市(H23)	低床路面電車の位置情報提供と利用者の双方向通信による障害者等の移動支援	●		●		

A:経路案内 B:観光 C:公共交通 D:多言語 E:緊急情報

5. ガイドラインの構成と改訂内容(1/2)

○ガイドライン改訂の方針を踏まえ、①施策の意義、②知見・ノウハウ、③サービス事業者への留意点等を追記。
○歩行者移動支援サービスやオープンデータに関する先行事例について、事例集としてとりまとめ。

構成	記載内容(現行版(H27.9))	主な改訂内容	改訂方針			
			①	②	③	その他
第1章 はじめに	本ガイドラインの目的と構成を解説。	<ul style="list-style-type: none"> 先進的に取組む地区の事例を追加する等、ガイドライン(平成27年9月版)からの更新内容を説明。 				●
第2章 歩行者移動支援サービスについて	歩行者移動支援サービスの導入・普及が必要となる社会的背景や、サービスの仕組みと現状の課題、オープンデータの必要性と可能性、市区町村に求められる役割等について解説。	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサル社会の構築に向けた取組の必要性や重要性を<u>少子高齢化の進行や法制度等の社会的背景から分かり易く説明。</u> ユニバーサル社会の構築に向けた取組に加え、ICTの進展等を背景とした歩行者移動支援サービスの重要性や役割に関する情報を充実。 <u>オープンデータに関する取組の背景として、平成28年12月に成立した「官民データ活用推進基本法」について追加。</u> 	●			
第3章 データのリストアップ	データリストアップの考え方、各地域の課題やニーズを把握する方法等について解説。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案の改訂に伴い見直しを行った、施設データとして整備すべき対象施設等の情報を更新するとともに施設データに付与すべきバリアフリー情報等を更新。 				●
第4章 データの収集・作成	必要に応じて作成や加工を行う段階。既存データサイトの紹介や、新たにデータ収集・作成・加工等を行う場合の方法等について解説。	<ul style="list-style-type: none"> <u>データ収集・作成のために活用できる既存データサイトの例として、平成28年11月に運用開始した「G空間情報センター」について追加。</u> 歩行者移動支援サービスに重要な役割を担う、<u>歩行空間ネットワークデータの作成の項目を新規に作成し、歩行空間ネットワークデータの概要を解説。</u> 歩行空間ネットワークデータの一般的な整備手順例を「<u>データ整備の計画</u>」「<u>現地計測の準備</u>」「<u>現地計測</u>」「<u>歩行空間ネットワークデータの作成</u>」の4段階に分けて整理。<u>また、歩行空間ネットワークデータを整備するための「距離」「勾配」「段差」「緯度・経度」の計測方法の例を整理。</u> 				●
		<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体が管理するWebGIS等で表示している施設データを活用してオープンデータ化を実施することで、<u>地方公共団体のデータ収集等の負担軽減につながる。</u>このノウハウについて記載を追加。 施設データの緯度経度情報が不明な場合、<u>無償のアプリケーション(地理院マップシート)を用いることで住所情報から緯度経度を算出することができる。</u>このノウハウ、アプリケーションの情報について記載を追加。 		●		

5. ガイドラインの構成と改訂内容(2/2)

○ガイドライン改訂の方針を踏まえ、①施策の意義、②知見・ノウハウ、③サービス事業者への留意点等を追記。
 ○歩行者移動支援サービスやオープンデータに関する先行事例について、事例集としてとりまとめ。

構成	記載内容(現行版(H27.9))	主な改訂内容	改訂方針			
			①	②	③	その他
第5章 データの公開	データの公開方法や、公開するデータの利用ルールのあり方等について解説。	—				
第6章 データを活用したサービスの提供	オープンデータの活用によるサービス提供の現状や、サービス提供を促すための取組方法、データ利用者に提供すべき情報等について、先進事例を紹介しながら解説。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者移動支援サービスを提供するサービス事業者に向けて、サービスの対象者別に提供すべき情報や情報提供の際に配慮すべき事項について参考となる資料を紹介。 鉄道駅のホームドアの設置状況を提供するサービスや道路沿いの映像を提供するサービス等、他のサービスとの連携によるサービスの高度化の可能性について記載。 			●	
第7章 おわりに	—	—				
付録集	ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業(14地区の事例)等	<ul style="list-style-type: none"> 付録集は、最新の事例を追加し、事例集として整理。 - 事例集①: オープンデータを活用した歩行者移動支援に取り組む事例 - 事例集②: ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業 		●		